

2023年9月7日

狭山事件の再審を求める市民集会・キリスト者前段集会
ご参加のお願い

関係者各位

荊冠の主を讃美します。

「狭山事件の再審を求める市民集会」が10月31日(火)に開催されます。この集会を前に、私たちキリスト者は下記の通りキリスト者前段集会をひらきます。

狭山事件の第56回3者協議が8月10日、東京高裁でおこなわれました。弁護団が高裁に要請している「11人の鑑定人尋問とインク資料鑑定実施」を、検察は全て必要ないとする意見書が提出されています。弁護団は現在、検察意見書に対する反論を順次提出しています。一日も早く狭山事件の再審を実現するために、狭山市民集会、キリスト者前段集会への参加を呼びかけます。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

NCC 日本キリスト教協議会 総幹事 金 性済
日本基督教団部落解放センター 運営委員長 鈴木 祈
日本カトリック部落差別人権委員会 委員長 中村倫明
部落問題に取り組むキリスト教連帯会議 議長 奥村貴充

開催日 2023年10月31日(火)

キリスト者前段集会 10時30分から 申込不要・参加自由

会場：聖公会聖アンデレ教会 東京都港区芝公園 3-6-18 ※5月と同じ会場です。
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 出口1番から飯倉交差点経由で東京タワーに向かって500m

狭山事件の再審を求める市民集会 13時から

主催：狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会
日比谷公園大音楽堂 千代田区日比谷公園 1-5 (日比谷公園内)
東京メトロ日比谷線 霞が関駅 B2出口から250m
日比谷線/千代田線 日比谷駅 A14出口から450m



地図データ@2023Google

連絡先 日本基督教団部落解放センター 〒574-0073 大阪府大東市緑が丘 2-16-14

TEL: 072-875-8470 FAX: 8471 Mail: blc@nyc.odn.ne.jp HP: blc-uccj.org

→裏面もご覧ください。



解放新聞主張 (9/5)
<https://x.gd/Ot07n>



個人署名用紙
<https://x.gd/PmeER>



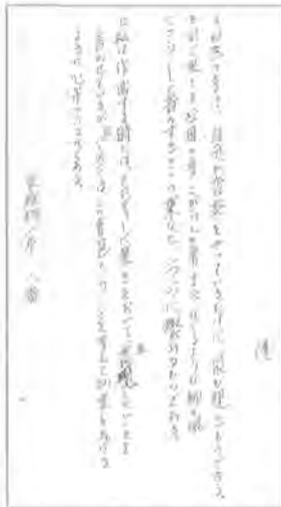
団体署名用紙
<https://x.gd/VYXIo>

下山第2鑑定

蛍光X線分析で
インク含有元素を検査

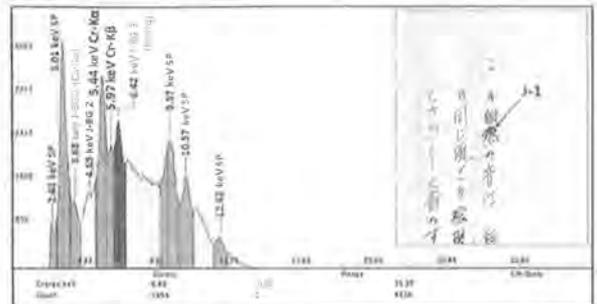
証拠の万年筆は被害者のものとはいえない

裁判所は鑑定人尋問・鑑定実施を

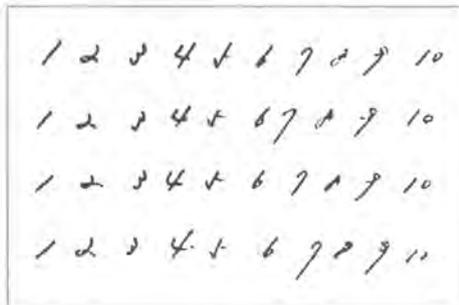


◀被害者が事件当日に書いたペン習字浄書のインク
＝クロム元素が含まれている

▼被害者が使っていた
インク瓶



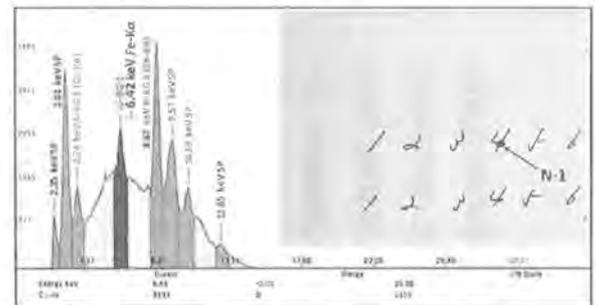
▲ペン習字浄書インクの蛍光X線分析の結果。蛍光X線がエネルギーごとにどれくらいに発生しているかピークになってあらわれる。ピークの高さが測定された元素の数を示す。クロム元素固有の蛍光X線が発生していることがわかる。



◀発見万年筆で書いた数字
＝クロム元素が含まれていない



▲発見万年筆



▲発見万年筆で書いた「数字」インクの蛍光X線分析の結果。鉄元素が含まれているがクロムは含まれていない。(クロム固有の蛍光X線のピークがあらわれていない)

狭山事件では、石川さんの家から自白の通り被害者の万年筆が発見されたとして有罪の証拠となっています。下山進・吉備国際大学名誉教授は、蛍光X線分析装置を使って、証拠開示された発見万年筆で書いた数字のインクと被害者が書いたペン習字浄書のインクなどにふくまれる元素を調べました。その結果、被害者が事件当日に使っていたインクや被害者のインク瓶のインクにはクロム元素が含まれていましたが、発見万年筆のインクにはクロム元素が含まれていないことが明らかになりました。石川さんの家から発見されたとして有罪の証拠とされた万年筆には被害者の使っていたインクは入っておらず、被害者の万年筆とはいえないことが科学的に明らかになりました。

万年筆は疑問だらけだ
東京高裁は狭山事件の
再審開始を！